

2021年度Sセメスター 法学政治学研究科・法学部の演習科目の実施形態について

1. 2021年度Sセメスターにおける法学政治学研究科・法学部の授業のうち、演習科目については、オンラインで実施する科目（オンライン形式）、教室で対面して実施する科目（対面形式）、教室で対面して実施するが、オンラインでの参加も可能とする科目（ハイブリッド形式）があるので、履修に際しては、下記の一覧表を参照すること。また、対面で実施（初回オリエンテーション含む）する演習科目の演習室または教室については追って掲示するので、開講日までに確認すること（なお、対面形式の科目については、今後の感染状況や教室の収容定員等の関係で、ハイブリッド形式に変更される可能性がある）。
2. 「初回のみ全員対面でオリエンテーション」欄で「実施する」となっている演習について、対面での参加が困難である場合には演習申込時にその旨を申告しておくこと。ただし、総合法政専攻の学生で授業担当教員の連絡先がわからない場合は、指導教員に連絡先を確認すること。
3. なお、Sセメスターの講義科目については、オンライン方式を中心とするが、一部の科目については、ハイブリッド方式や対面方式の学修機会を採り入れる予定である。詳細については、3月22日（月）頃までに掲示する。

担当教員名	演習科目名	① オンライン形式	② 対面形式	③ ハイブリッド形式	④ その他 (具体的に記入)	①～④を併用する場合の授業形態のスケジュール	①③の場合初回のみ全員対面オリエンテーション
伊藤 洋一	ヨーロッパ法と国内法		○				
藤原 一	ポピュリズムと国際政治	○					実施しない
松原健太郎	Law and Society in East Asia	○					実施しない
松原健太郎 Bryan Tiojanco	Law and the Formation of Transnational East Asia	○		○		オンラインを基本とするが、参加者と相談の上、ハイブリッド型を組み込む場合もある。	実施しない
林知更	ドイツ憲法研究	○	○			参加者の希望・都合を聞いた上で、定期的に対面で質疑・討論する機会を組み入れる予定。	実施しない
小島慎司	フランス憲法文献講読	○					実施しない
福岡安都子	欧州憲法文献講読	○			対面授業再開の場合は、駒場キャンパスの教室を利用する予定。		
太田匡彦	ドイツ公法文献講読	○					実施しない
増井良啓	租税法演習	○					実施する
神山弘行	租税法演習	○		○		通常①オンライン開催とする。状況に応じて③への移行を検討する。	実施しない
藤谷武史	財政法演習	○					実施する
中谷和弘	国際空間秩序と法	○					実施しない
森肇志	国際法外国語文献講読	○		○		初回は全員オンライン参加とする。2回目以降は諸事情を考慮しながらハイブリッド形式による開催も検討する。	実施しない
石川健治	国法学を読む	○					実施しない
森田修 他	民事判例研究	○					実施しない
森田修	民法原典講読	○					実施しない
石川博康	契約法基礎文献講読	○					実施しない
平野、神作、藤田、加藤(貴)、松井、後藤、飯田(秀)	商事判例研究	○					実施しない
平野温郎	演習（商法）	○		○		原則①だが、シンガポール国立大学の講師が入国できる場合は③とする。	実施しない
神作裕之	会社法の重要判例	○					実施しない
藤田友敬	会社法研究			○			実施しない
加藤貴仁	会社法研究	○		○		当初はオンライン形式で開始する。	実施しない
後藤 他	東アジア比較社会法（中国法・韓国法・台湾法）			○	集中講義のため詳細は5月頃に決定。初回は対面で実施する予定。		
垣内秀介	ドイツ民事訴訟法文献講読		○		対面を基本とするが、履修者の希望に応じ、ハイブリッドまたはオンラインのみとすることもあり得る。		
樋口亮介	日米少年法	○		○		基本的に①とし、感染状況をみながら③への移行をゼミ内で相談します	実施しない
橋爪隆	刑法理論研究	○					実施しない
山川・荒木・神吉	労働判例研究	○					実施しない
荒木尚志	演習（比較労働法）	○			参加者の人数や参加者の意向を踏まえ、対面を実施することが望ましいと判断した場合は対面式を取り入れる。		実施しない
神吉知都子	イギリス労働法研究	○		○			実施する
白石忠志 VANDE WALLE, Simon A.W.	競争法研究			○			
原田央	外国語文献講読	○					実施しない
大淵哲也	知的財産法	○			原則としてオンラインのみを予定しているが、学生の強い要望があればどこかで1回くらい対面も検討する。		実施しない

担当教員名	演習科目名	① オンライン形式	② 対面形式	③ ハイブリッド形式	④ その他 (具体的に記入)	①～④を併用する場合の授業形態のスケジュール	①③の場合初回のみ全員対面オリエンテーション
田村善之	知的財産法の邦語文献講読	○					実施しない
田村善之	知的財産法の英語文献講読	○					実施しない
白石忠志 和田俊憲	法教育演習	○				5月中旬までは①オンラインのみの形式とし、それ以後は状況を見て判断します。	実施しない
神作裕之	先端ビジネスロー基礎セミナー	○					実施しない
田村善之	先端ビジネスロー発展セミナー(基礎編)	○					実施しない
田村善之	先端ビジネスロー発展セミナー(応用編)	○					実施しない
水野大	信託法に関する実務上の諸問題	○					実施しない
瀧川裕英	法哲学の基本問題(2)	○		○		基本的にオンラインだが、履修者数等によっては、対面、ハイブリッドを何回か行うこともあり得る。	実施する
齋藤哲志	フランス法基礎文献講読	○	○	○		可能な限り対面形式で実施するが、難しい場合はハイブリッド、オンラインに移行する。	
高見澤 磨	近現代中国法概観(16)	○	○			オンラインを主としつつ、状況を見て対面	実施しない
両角吉晃	イスラーム法文献講読	○					実施しない
新田一郎	日本法制史史料研究Ⅰ		○		人数が多くなる場合にはオンラインでの開講を検討する		
和仁 陽	日欧近代法史の諸問題				詳細未定のため、随時シラバス等で確認すること。		
田口 正樹	ヨーロッパ法制史入門	○					実施しない
源河達史	教会史・教会法史料講読	○					実施しない
Dimitri Vanoverbeke	法と社会：ヨーロッパから見る司法制度改革と市民参加		○		最初は数回オンライン・その後対面形式	日本へ入国・隔離期間が終了次第対面式で実施・それまではオンライン形式	
飯田 高	法と行動経済学	○					実施しない
加藤淳子	政治学方法論	○					実施しない
苅部 直	政治思想と公共政策		○				
谷口将紀 佐藤武嗣	政治とマスメディア演習Ⅰ	○	○			ゲストスピーカーの都合等を踏まえ、授業回ごとに対面orオンライン(リアルタイム)を決定	
谷口将紀	現代日本政治文献講読	○				全面オンライン(リアルタイム)	実施しない
川出良枝	政治学史原典講読	○	○			初回と最終回を含み全体で3～4回ほど原則的に全員参加の対面を行い、それ以外はオンライン。対面に出席したくない学生には録音を事後的に提供するなど配慮。	実施する
内山融	質的分析の方法	○				すべてオンライン形式	実施しない
前田幸男	世論と投票行動			○			実施しない
今井耕介	Quantitative Social Science	○			履修希望者は以下のTAに連絡すること。 skuzushi@umich.edu また、以下のフォームへ回答すること。 https://forms.gle/5apgsKSSMbdfFnhE8	コロナ禍で来日の見通しが立たないため、アメリカからオンラインで演習を進行する予定である。6月の第1週から週2回、時差の関係で1限に開講する。詳細は、履修者と相談したい。	実施しない
境家史郎	政治参加の理論と実証		○				
苅部 直	日本政治思想史史料会読		○				
城山英明	科学技術と政治・行政	○	○			数回②を併用	実施する
金井利之	事例研究現代行政Ⅲ	○	○		可能な限り、夏休み期間中の実習(川口市役所でのインターンシップ)の可能性を模索する	インターンシップを行う場合には、7月頃にオリエンテーションを対面で行う	実施する
保城広至	国際政治の定性分析法：QCAの基礎と応用	○	○			講義はオンライン、実技(最大3回)は対面による	実施しない
佐橋亮	国際政治の新課題			○			実施しない
五百旗頭 薫	日本政治外交史史料輪読	○			感染状況が改善すれば学期の後半に対面のオフィスアワー等を設定する可能性がある。		
松田康博	近現代中国政治外交史			○		初回のみオンラインでガイダンス。対面を主とし、やむを得ない学生についてはオンライン。	実施しない
平野 聡	アジア政治外交史史料講読		○		参加人数が多くなり、都内の感染状況が改善されなければオンラインとする。	申し込みの時点で人数が多ければ、最初からオンラインで実施する旨告知する。	
中山洋平	西ヨーロッパ比較政治(史)文献講読	○	○			教室の都合などにもよるが、初回を含む複数回を対面で実施することを考えている。	実施する
大串和雄	社会的アイデンティティと紛争		○				

担当教員名	演習科目名	① オンライ ン形式	② 対面形式	③ ハイブ リッド形 式	④ その他 (具体的に記入)	①～④を併用する場合の授業形態のスケ ジュール	①③の場合初回の み全員対面オリエ ンテーション
高原明生	習近平政権と中国社会	○					実施しない
松里公孝	旧社会主義国家における恩顧政治と 支配党		○				
木宮正史	朝鮮半島の政治		○	○		対面形式を基本とするが、オンラインでの 参加も可とする。	実施しない
鹿毛利枝子	政治と集団	○					実施しない
伊藤 武	現代ヨーロッパ政治文献講読	○				参加者が少ない場合や感染状況が改善した 場合などは、受講生と相談の上で、対面も 取り入れることで対応したい。	実施しない